

# 『マモノレイド』2人用対戦版ルール



## ■『マモノレイド』2人対戦版とは？

『マモノレイド』は本来3～4人用で120～160分のゲームですが、ゲームマーケット2015秋の試遊卓向けに2人対戦で60分で決着するように改造したルールを作りました。  
今回のものは、その時の試遊卓向けルールを一般公開用に一部修正したのになります。

## ■製品版との違いは？

- ・対応人数が2人対戦専用になり、プレイ時間が60分になります。
- ・セットアップの仕方が細かく変わります。  
次のページから、2人対戦版のセットアップの仕方を説明していきます。
- ・終了条件が「コアが破壊されたら」から「部位カードが4枚破壊されたら」に変わります。  
2人対戦版では、部位の再生とコアの攻略は行いません。
- ・2人対戦版では、クレリックのキャラクターをレベルアップさせることができません。
- ・上記以外の点は、製品版のルールに従ってください。

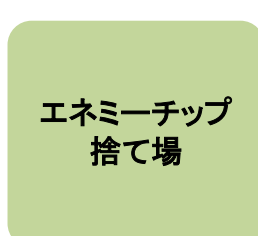
# テーブルの初期配置 (2人用対戦版)

テーブル中央に置かれるものです。ダンジョンバザールのカードの枚数やボード上の配置に関しては、次のページから説明していきます。

## ダンジョンバザール



## ストック



# ダンジョンバザール(スキルカード)

ダンジョンバザールには9種類の《スキルカード》を各1枚ずつ置きます。  
\*2人対戦版では、クレリックのレベルアップはできません。



《アックスアタック》1枚 《フルスイング》1枚



《ランスアタック》1枚



《ライトニング》1枚 《アルケミー》1枚



《ファイアボール》1枚

《アルケミー》のカードの上には、このカードを獲得した時に得られる金貨のコインチップを1枚置きます。



《ディスポイル》1枚 《ナイフアタック》1枚



《アシストアクション》1枚

ダンジョンバザール(アイテムカード) ダンジョンバザールには、2種類の《サービスカード》と6種類の《アイテムカード》を置きます。

サービス



《追加ライフチップ》  
1枚



《レベルアップ》  
1枚

アイテムカード



《体力の霊薬》  
2枚



《竜鱗の盾》  
2枚



《経験値の指輪》  
2枚



《吸魂の靑》  
2枚



《獣王の外套》  
2枚



《守護騎士の鎧-1》  
1枚

《追加ライフチップ》のカードの上には、5枚の【ライフチップ】を置きます。

《経験値の指輪》のカードの上には、このカードを獲得した時に得られる【指輪チップ】を置きます。カードが2枚あるのでチップも2枚です。

《守護騎士の鎧》は-1の方を1枚だけを置きます。

# ボードのセットアップ1

最初に2枚の[ボーナスシールドチップ]と、エネミーとして4枚の《部位カード》を置きます。  
2人対戦版では、エネミーの《部位カード》はランダムでなく、固定の4枚になります。



①[ボーナスシールドチップ]を置く  
2人対戦版では、[ボーナスシールドチップ]の盾の絵の数がひとつのチップだけを使用します。2枚のチップは、本来ボードに置くべき場所を入れ替えて置き、盾の絵の数が2つのチップは使わないことが分かるように裏向きにします。



裏返す



盾の絵が1つ描かれたマスに裏向きで置く。



盾が2つ描かれたマスのほうに置く。



②《部位カード》を置く  
2人対戦版では《部位カード》は上の4枚だけ使用します。これら4枚のカードをボード上のそれぞれの部位に置きます。  
\* 2人対戦版では、部位の再生及び、コア攻略はありません。

## ボードのセットアップ2

次に[マスキングチップ]2枚と、部位破壊報酬として、銀貨2枚を各《部位カード》の上に置きます。

### ③部位破壊報酬の銀貨を置く

2人対戦版の部位破壊報酬は3P時のものを使います。  
セットアップの時、部位破壊報酬を《部位カード》の上に置いておくと、報酬を分配する時、わかりやすいでしょう。



### ④[マスキングチップ]を置く

変則的な置き方になりますが、2人対戦版の時、[マスキングチップ]は頭と尾のヘイトラインの二ヶ所にだけ置きます(上図参照)  
これによりヘイトラインに置かれる[エネミーチップ]の数は下記のようにになります。



頭:4個、胴:5個、背:5個、尾:4個

# ボードのセットアップ③

2人対戦版では、Stage1から5枚、Stage2から13枚の合計18枚の[エネミーチップ]を混ぜて使います。裏面のデザインが異なるチップを混ぜて使用しますが、大きな問題はありません。

⑤Stage1の[エネミーチップ]から、下の5枚を抜き出します。



⑥Stage2の[エネミーチップ]から、下の13枚を抜き出し、先のStage1の5枚と合わせて、裏向きでよく混ぜ、チップの山を作ります。



# ボードのセットアップ4

[エネミーチップ]をボードに並べていきます。この時は製品版と同じく、黄色の数字で順番の入れ替えを行います。以上でセットアップは終了となります。



(18枚)



⑦山から、部位のマスの数だけ、  
[エネミーチップ]を並べます。

頭:4個、背:5個  
胴:5個、尾:4個

⑧並べられた[エネミーチップ]を  
めくって表にします。

⑨右上の黄色の数字が最も小さい  
ものが、矢印の「元」にくるように  
チップの場所を数字の順番で  
並べ替えます。

矢印の「元」

矢印の「先」



Stage1とStage2のチップを混ぜて使用している  
ため、黄色の数字が同じ[エネミーチップ]が並ぶ  
ことがあります。





## 部位破壊後の処理

破壊された部位に新たに何かが置かれることはありません。4つ目の部位が破壊されたら、そのラウンドの〈終了フェイズ〉まで行い、その後、〈得点計算〉に移ります。

部位破壊をした時、【貢献度】に応じた報酬の分配を行い、その後、《部位カード》を獲得したプレイヤーの[ヘイトマーカー]をエネミーレベルに置くのは通常の処理と同じです。



部位が破壊された場合、ヘイトラインにあった[ヘイトマーカー]は、すべて取り除かれます。部位の再生もコア攻略もないため、このエリアに、新たに何かを置くことはありません。